

接続料の算定に関する研究会

～#2 NGN接続料算定方法・県間伝送路のルール～

2017年4月12日
ソフトバンク株式会社

1. はじめに

1-1. 固定ブロードバンド基盤の重要性

2020年に向け、①モバイルブロードバンドと
②固定ブロードバンドの両輪で世界最高水準のIT社会を実現



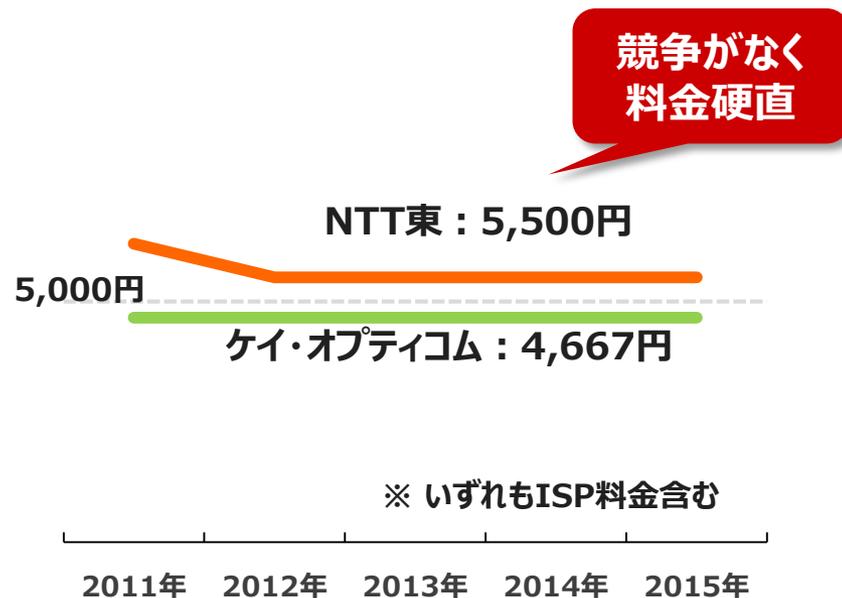
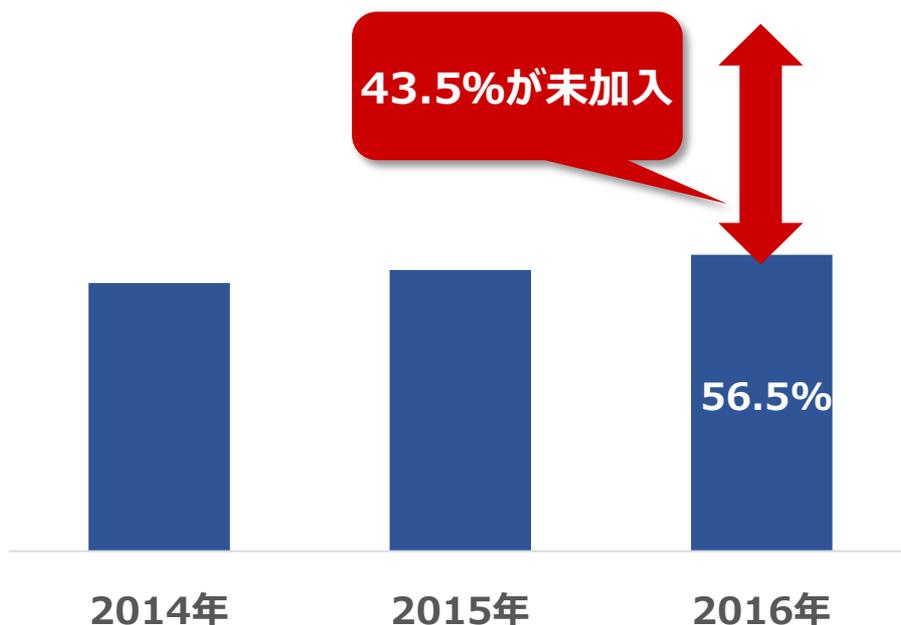
固定ブロードバンドは、今後発展していく
4K・8K等の大容量のリッチコンテンツを支える重要なICT基盤

1-2. 固定ブロードバンドの競争の現状

固定ブロードバンドは競争が不十分で普及が進まず
FTTH料金は高止まり

固定系超高速
ブロードバンドの普及率

FTTH料金
(戸建て向け)



(出典) 「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表 (平成27年度第4四半期 (3月末)) 」

(総務省「電気通信事業分野における競争状況の評価2014」より抜粋)

1-3. 固定ブロードバンドの競争政策

モバイル同様に固定通信分野においても
普及促進について活発な見直し議論が必要

現在の状況

- ① 加入光ファイバ
利用促進策
- ② サービス卸の料金

当社の課題認識

- 接続料が高く新規参入や利用が進まず
- 2020年以降の接続料の方向性も不透明
- 2015年以降普及促進議論なし
- 卸料金硬直化により価格競争は進展せず

固定通信の
競争政策

2. 固定通信の競争促進に係る課題

2. 固定通信の競争促進に係る課題

固定通信の競争促進のため
以下について活発な議論が必要

検討課題

現状

- 加入光ファイバ**
- ① 光ファイバ分岐議論
 - ② 光ファイバ耐用年数
 - ③ 接続料に占める利潤

- ① 2019年に再検討予定
- ② 見直し行わず
架空15年/地下21年のまま
次の見直しタイミングも不透明
- ③ 利潤の増加
FY14:30%→FY19:45%

第4回で
提案

- 卸・NGN**
- ④ 卸の条件
 - ⑤ NGN機能

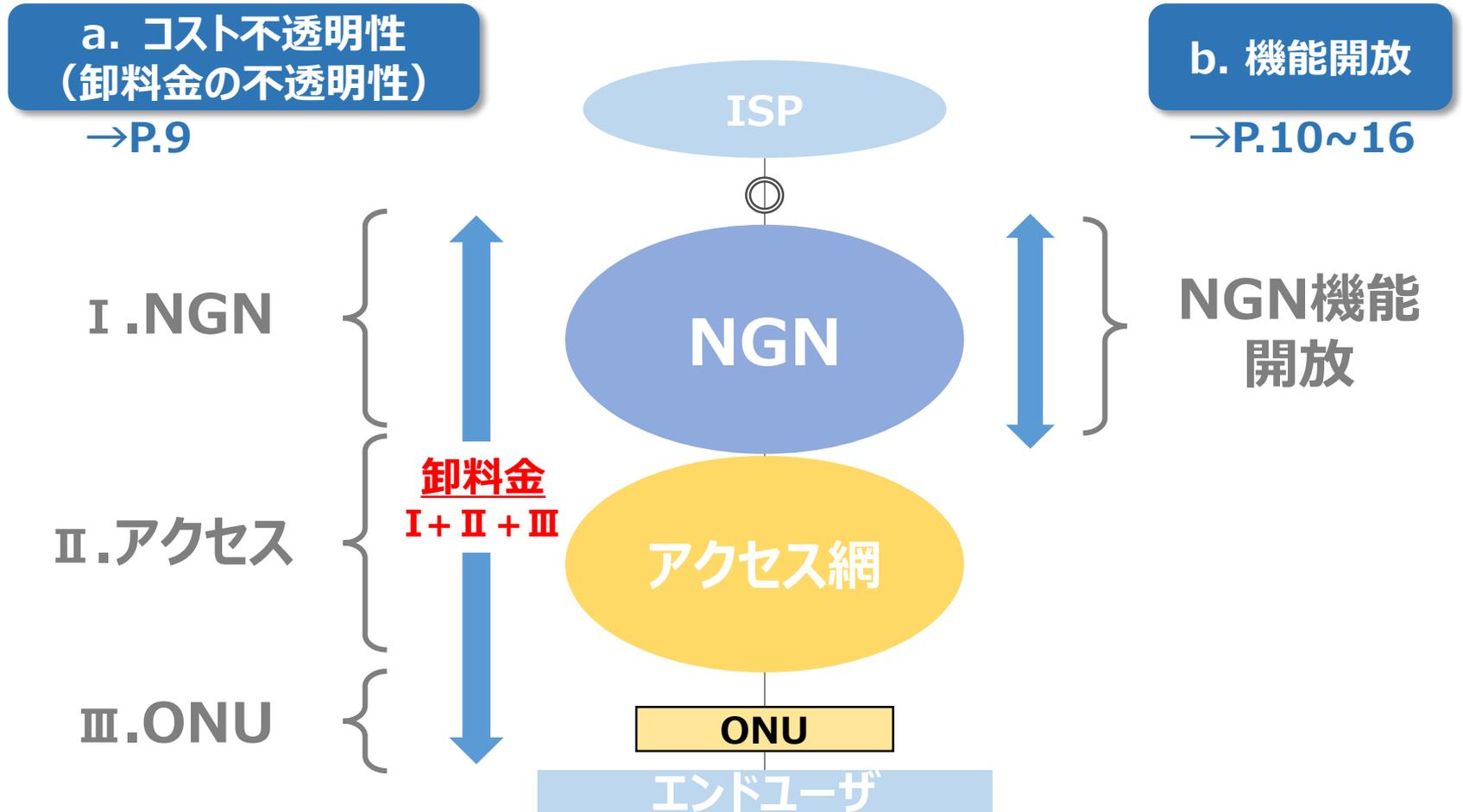
- ④ 料金高止まり等課題
- ⑤ 開放進まず

次頁以降
具体的提案

3. 卸料金・NGN機能開放の課題

3-1. NGNの卸料金・NGN機能開放の課題

コストの不透明性と機能開放の課題が存在



3-2. サービス卸(フレッツ卸)に係る課題

a. コスト不透明性

固定通信においても、モバイルと同様に
コストベースでの料金算定を行うべき

サービス卸に係る課題

① 卸料金がコストベースでなく不透明

※一方、モバイルにおけるMVNO料金は卸でも接続でも同一料金と理解

② 卸メニューが多様化されていない

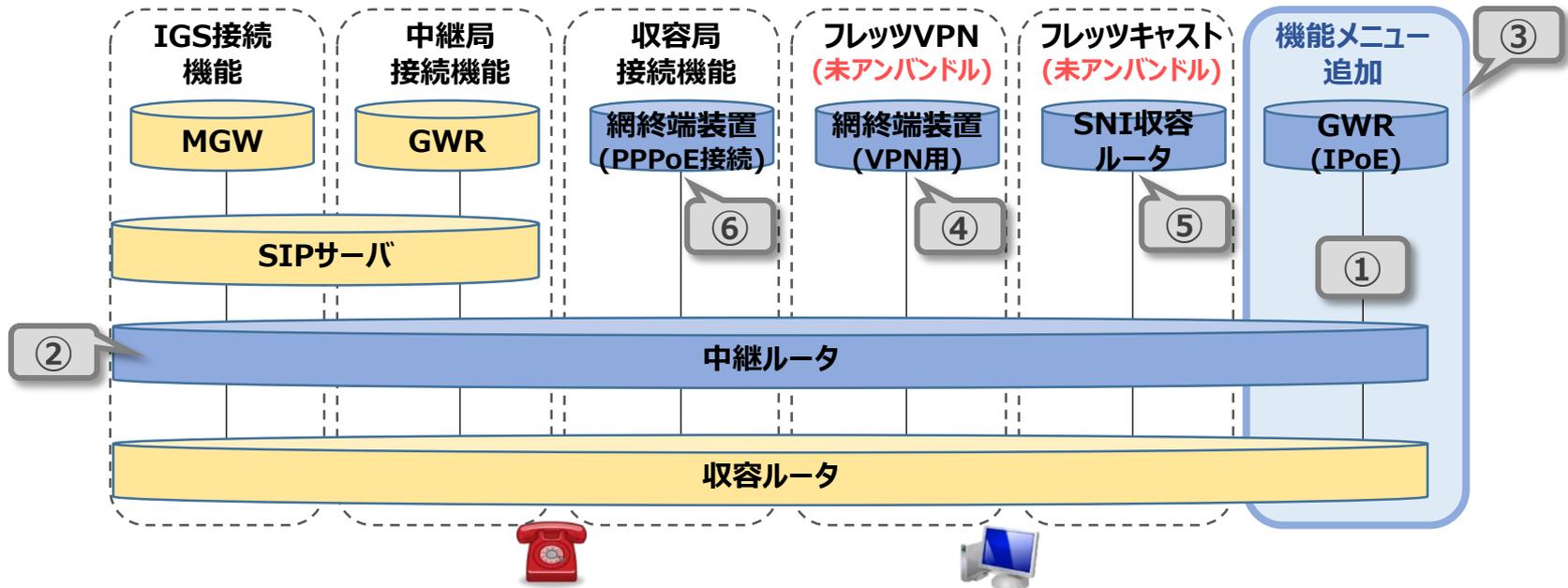
機能の違いや機能選択がなく一律

③ 卸料金値下げがなく、ユーザ料金が硬直化

機能を細分化し、事業者が使いやすい 接続メニューを作るべき

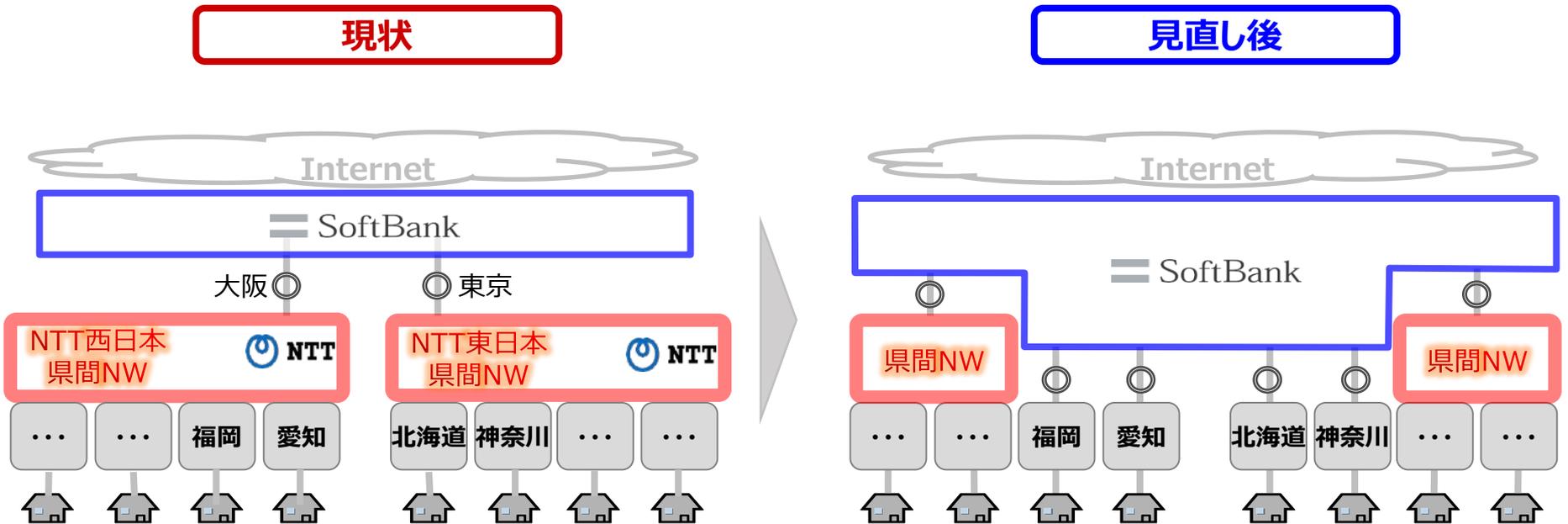
機能開放要望

- ① NGN県間ネットワークの適正化 ……P.11
- ② 帯域換算係数の見直し ……P.12
- ③ フレッツ光(IPoE)閉域メニューの追加 ……P.13
- ④ 網終端装置(VPN)の開放 ……P.14
- ⑤ マルチキャストのNNI化 ……P.15
- ⑥ PPPoE装置増設基準の見直し ……P.16



3-4. ① NGN 県間ネットワークの適正化

トラフィックが多い県はPOI増設し直接接続
また、現状非指定設備である県間伝送路の
料金コストベース化が必要

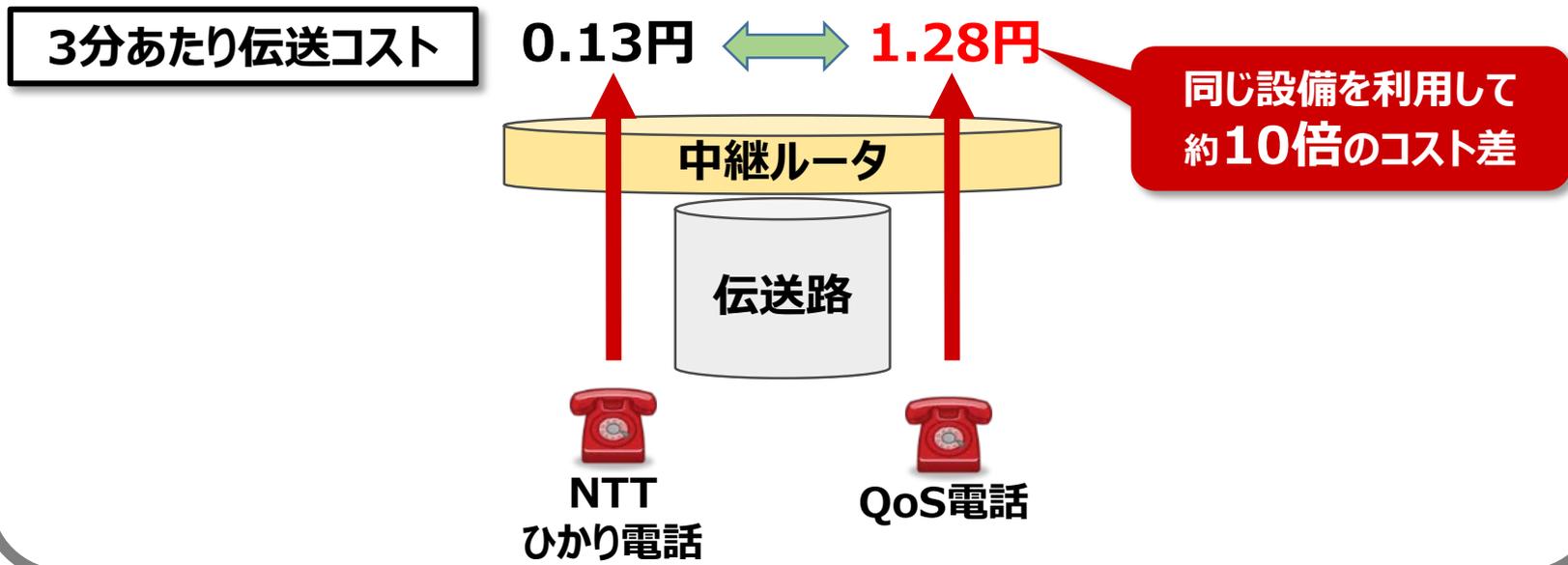


3-4. ②帯域換算係数の見直し

サービス機能間でのコスト補正に導入されたものの
需要の少ない新規機能コスト負担が過度となる仕組み

実態に即して見直すべき

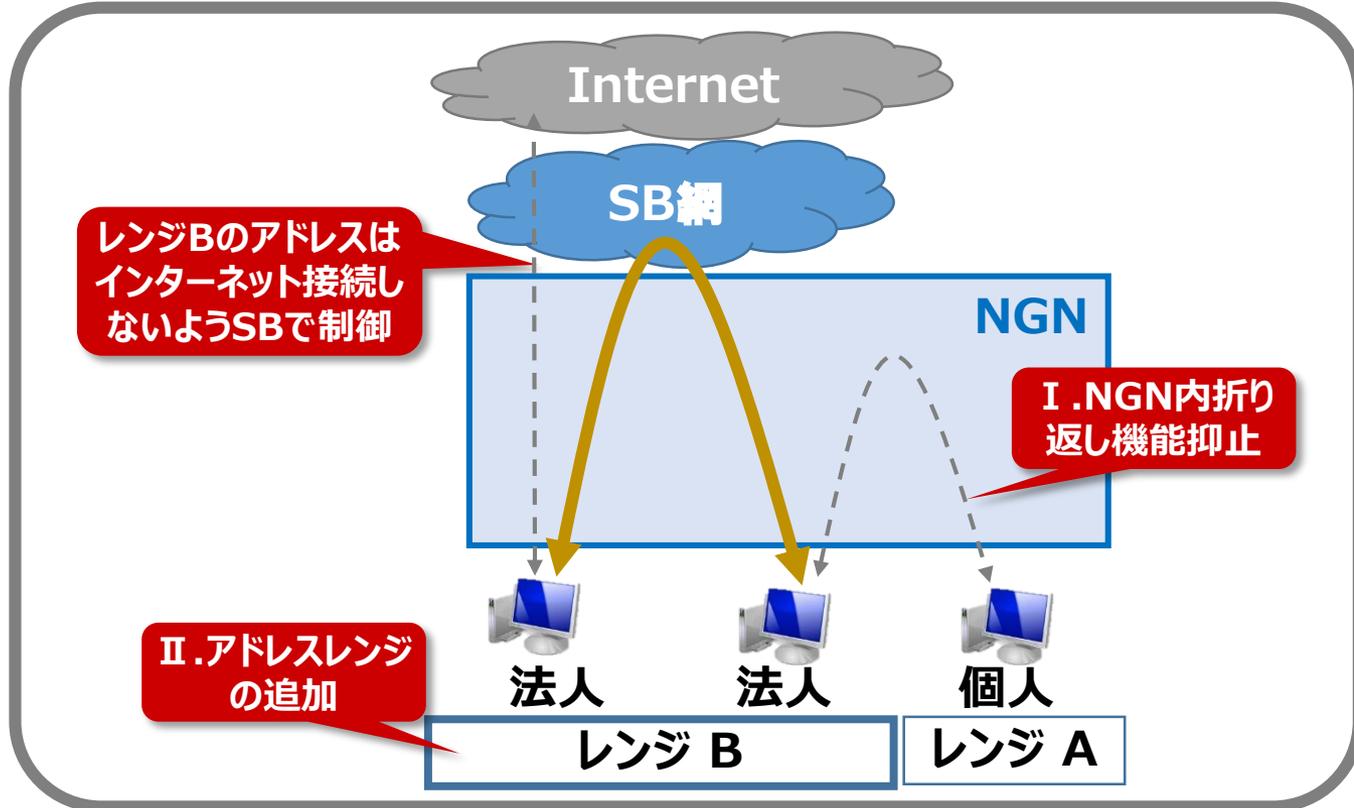
<例：NTTひかり電話とQoS電話の伝送コスト>



※ ひかり電話の伝送コストは、2017年度NTT東日本のIGS接続料における中継ルータ及び伝送路の原価より算出
※ QoS電話の伝送コストは、2017年度NTT東日本の優先パケットルーティング伝送機能の200kbps・3分あたり接続料

3-4. ③ フレッツ光(IPoE)閉域メニューの追加

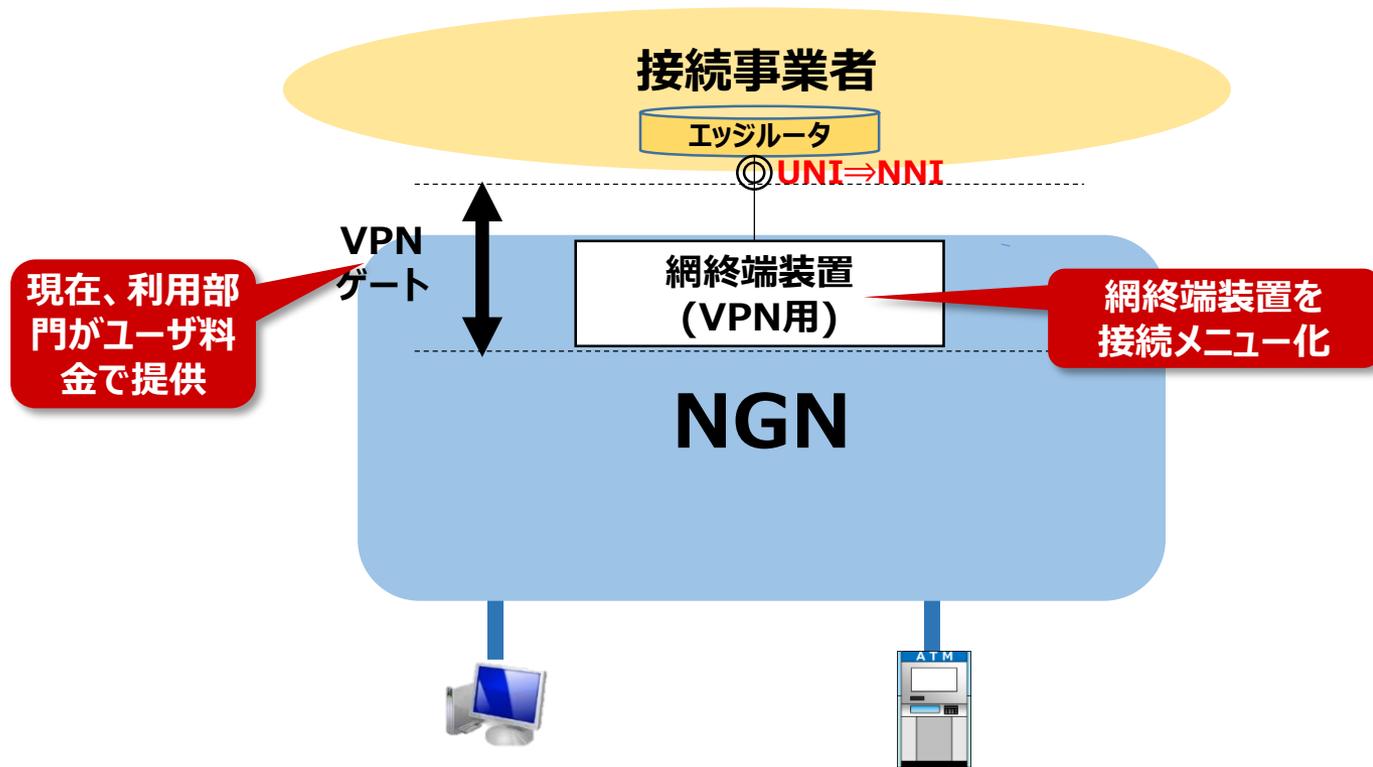
I. 折り返し機能抑止 II. 法人向けアドレスレンジ追加を希望



法人拠点間通信向けに閉域性の高いセキュアなメニューを提案可能

3-4. ④ 網終端装置(VPN)の開放

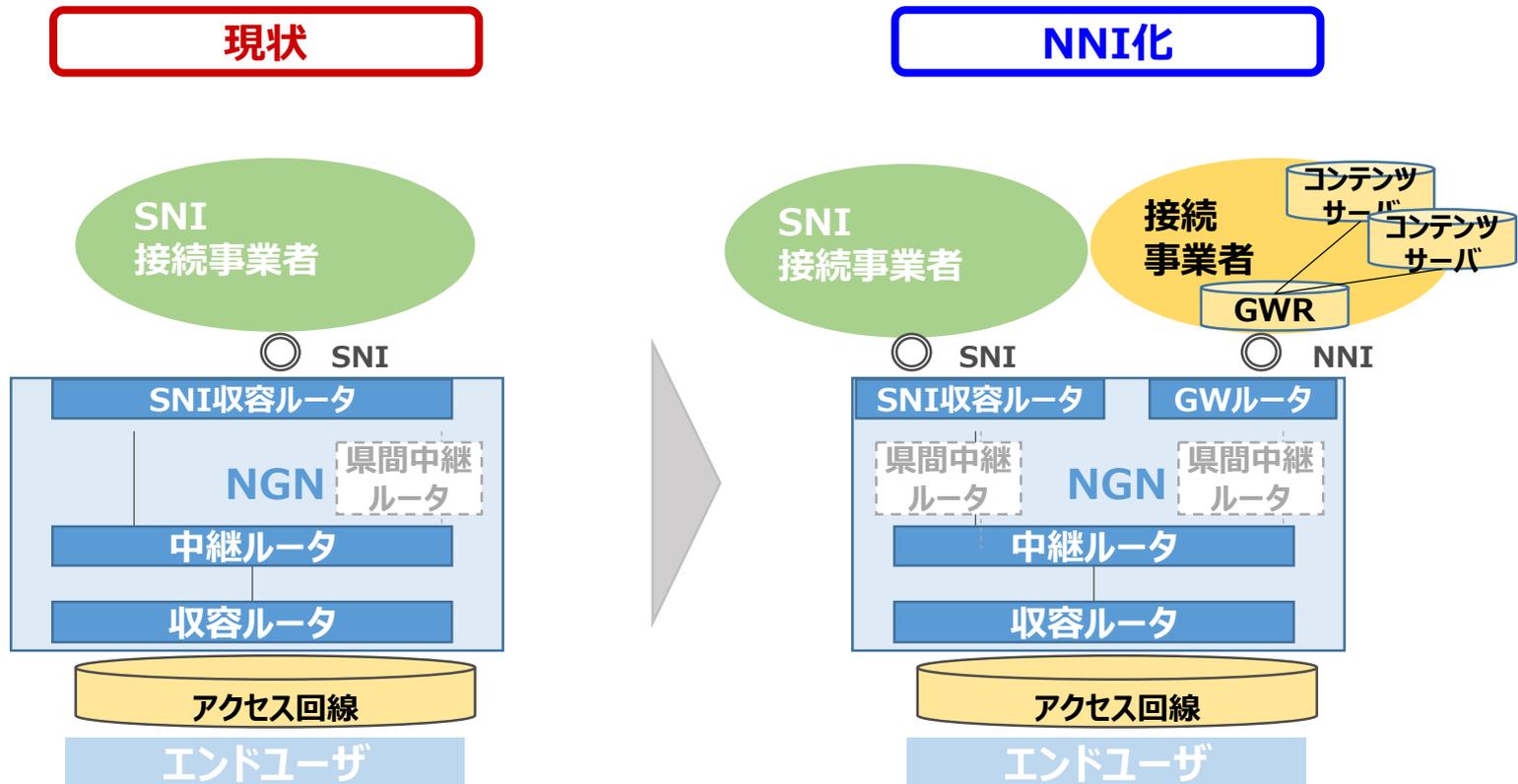
接続事業者の閉域網とNGNを接続し、
VPNを実現する機能を希望



金融機関ATM等、多拠点かつ少ないトラヒックでも
セキュリティの確保が必要な通信への用途を想定

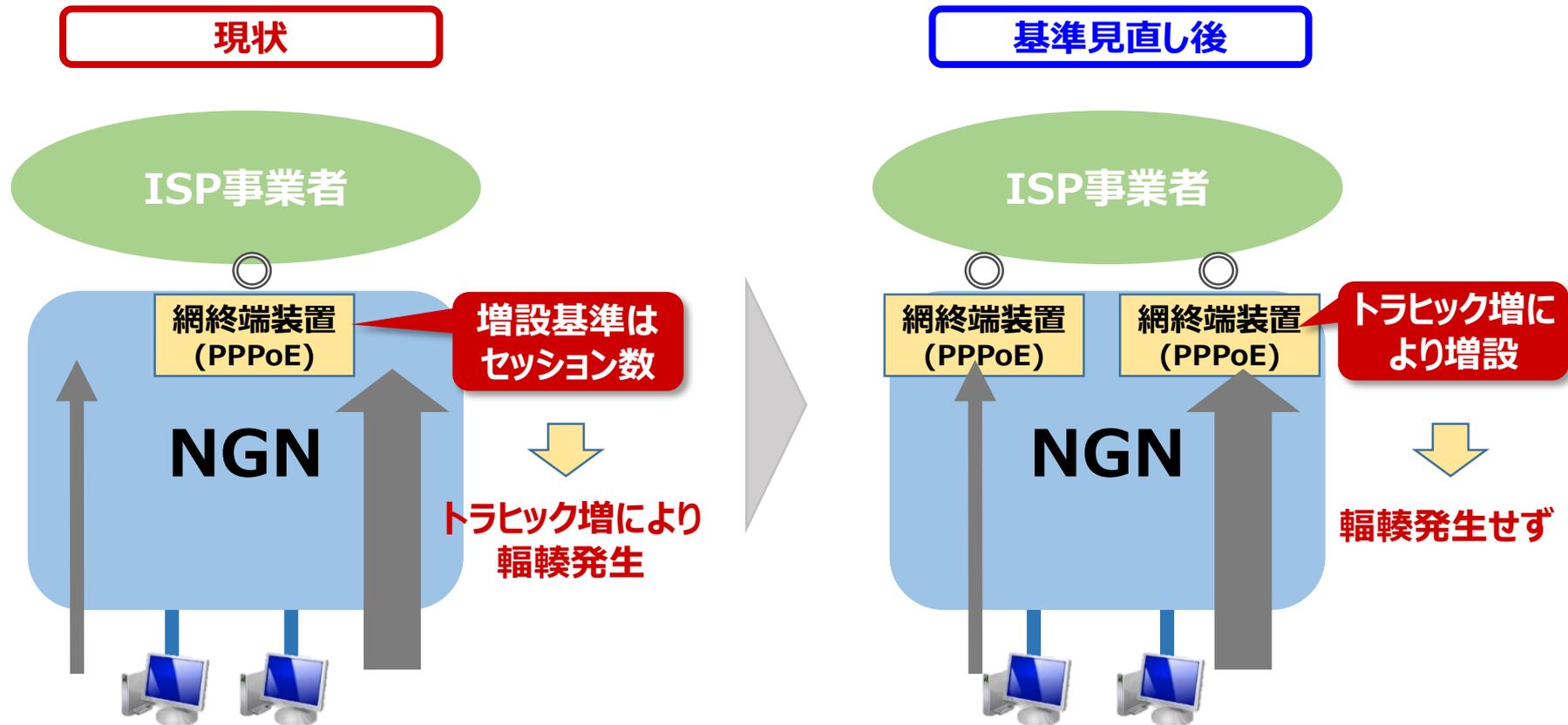
3-4. ⑤ マルチキャストのNNI化

地デジネット配信等の将来ニーズに接続事業者が参入できるように、マルチキャストのNNI化に向けた課題を整理すべき



3-4. ⑥ PPPoE装置増設基準の見直し

PPPoE接続における網終端装置の輻輳発生抑止のため
増設基準をセッション数⇒トラフィックに見直すべき



4. まとめ

1. 固定通信はモバイルとともに世界最高レベルのIT社会実現に向けた重要な基盤であり、**公正で活発な競争が行われるための環境整備が重要**
2. とりわけサービス卸は料金が不透明でユーザ料金が高止まりしており**コストベース化の検討が必要**
3. 今後ますます基幹的な通信網としての役割を果たすNGNを利用し競争事業者が多彩なサービスを遅滞なく提供できるよう、**機能を細分化し使いやすくすべき**